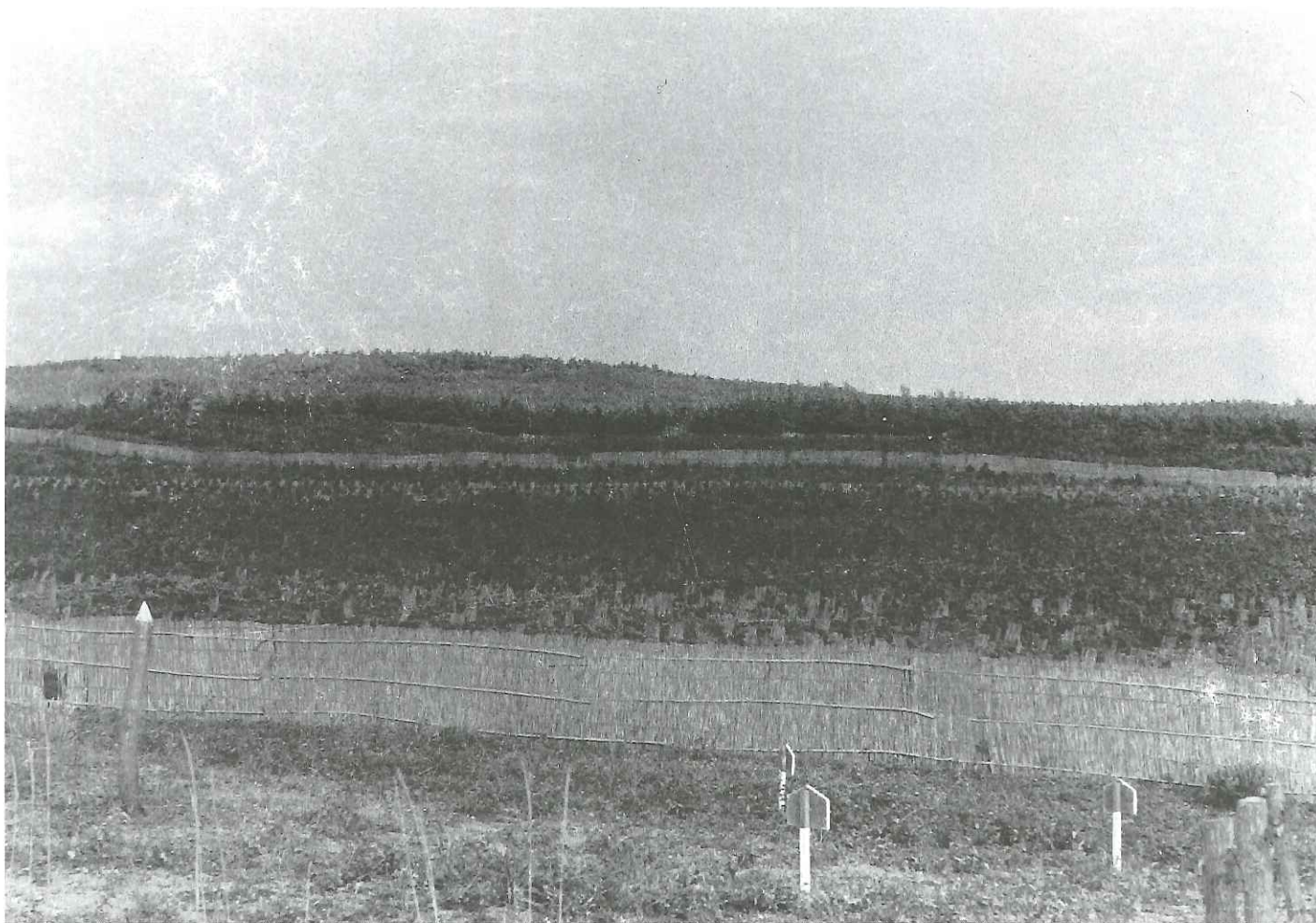


2-2 森林造成  
2-2-1 防風工

No.70



クロマツ植栽の準備として、まず、風上に、植栽木を保護する防風柵を設ける。(後谷地)

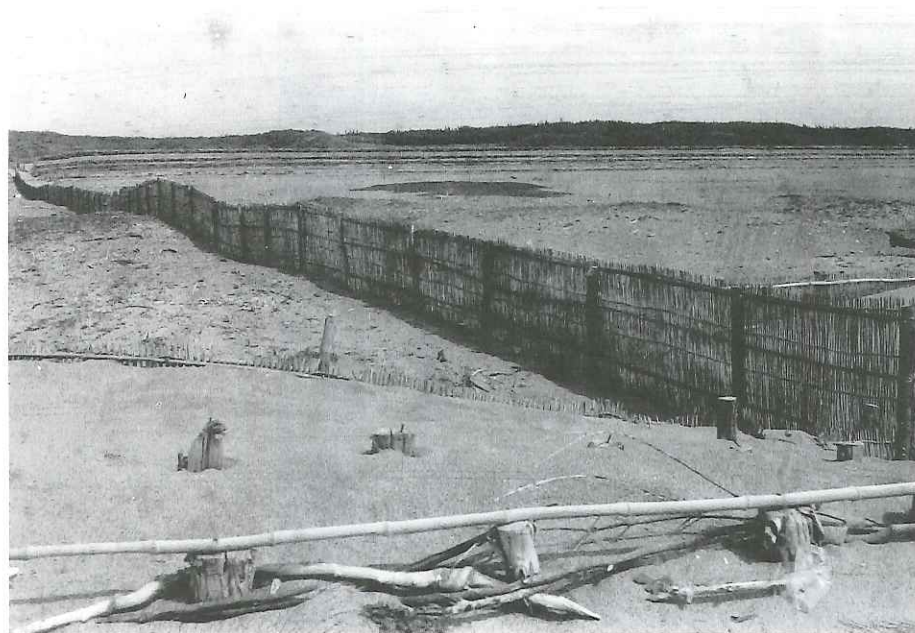


ヨシ簀を用いて防風柵を作る作業。

2-2-2 静砂工

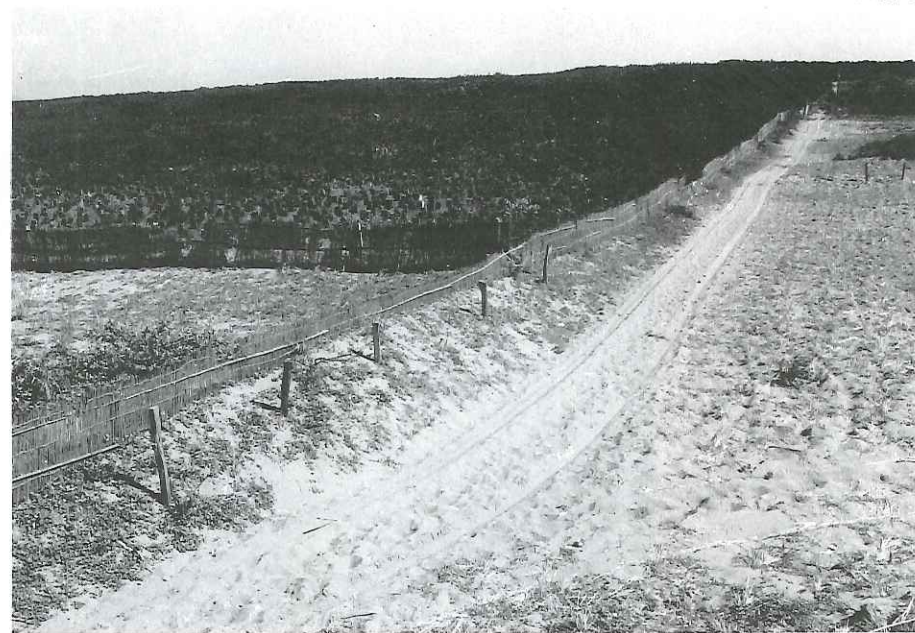
2-2-2-1 静砂垣工

No.72



植栽予定地において、砂の移動を防ぐため、正方形や長方形に区画して風を防ぐ垣（静砂垣）を設ける。（後谷地 S.34）

No.73



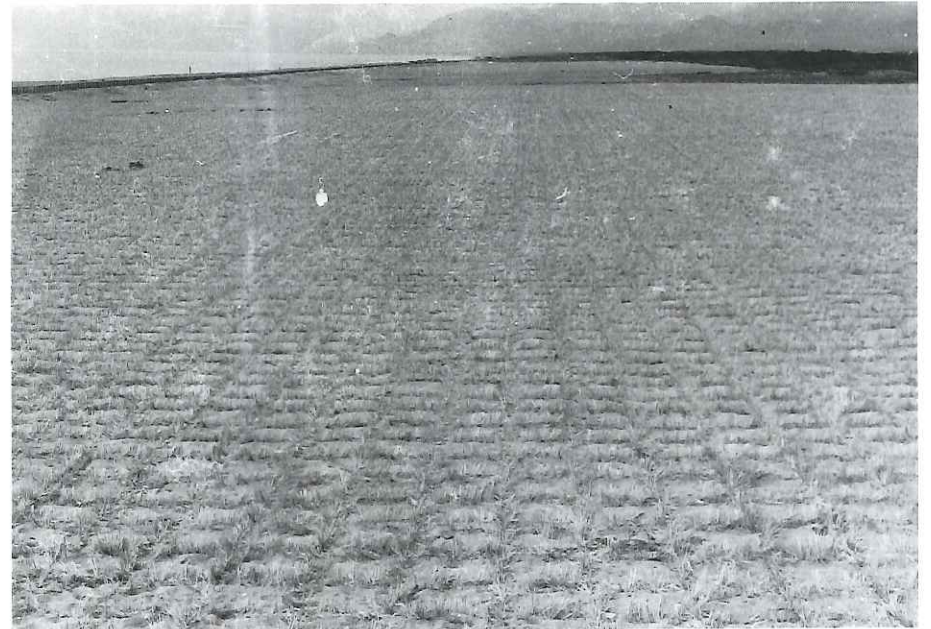
クロマツを風から守る静砂垣。（後谷地）

No.74



植栽予定地において、砂の移動を防ぐため、ワラで簡易な垣を作る。  
(後谷地 S.34)

No.75



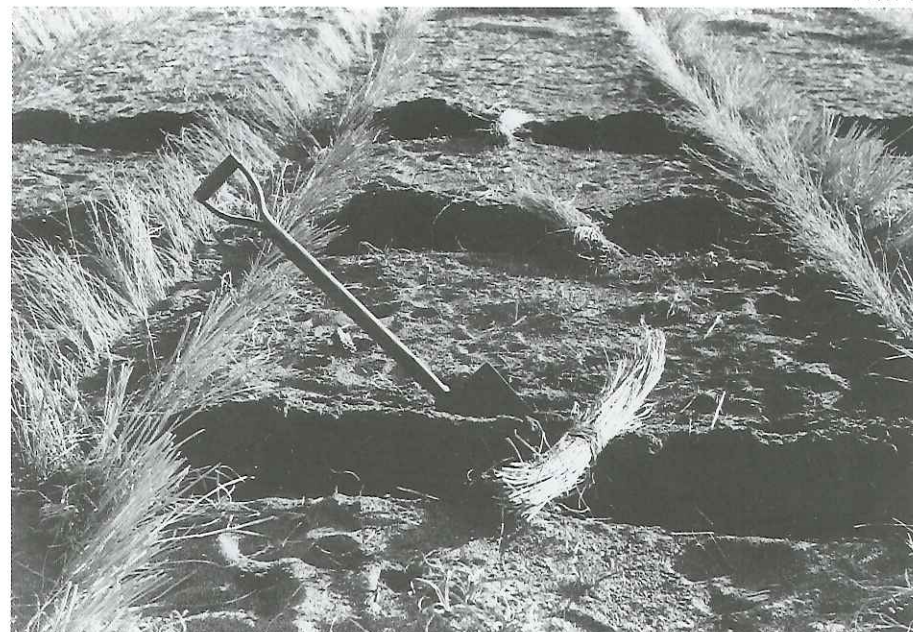
ワラによる静砂立工。(後谷地)

No.76



砂丘の間に施されたワラ静砂立工。(後谷地 S.26)

No.77



ワラ静砂立工の施工過程。(S.33)

No.78



施工中のフラ静砂立工。(大開浜 S.33)

No.79



フラ静砂立工の作業。(S.31)

No.80



ワラ静砂立工の作業。(後谷地 S.31)

No.81



ワラは人力により運搬した。左側に治山作業場がみえる。(大開浜 S.38.4.)



人力によるワラの運搬。(大開浜 S.38)



No.83

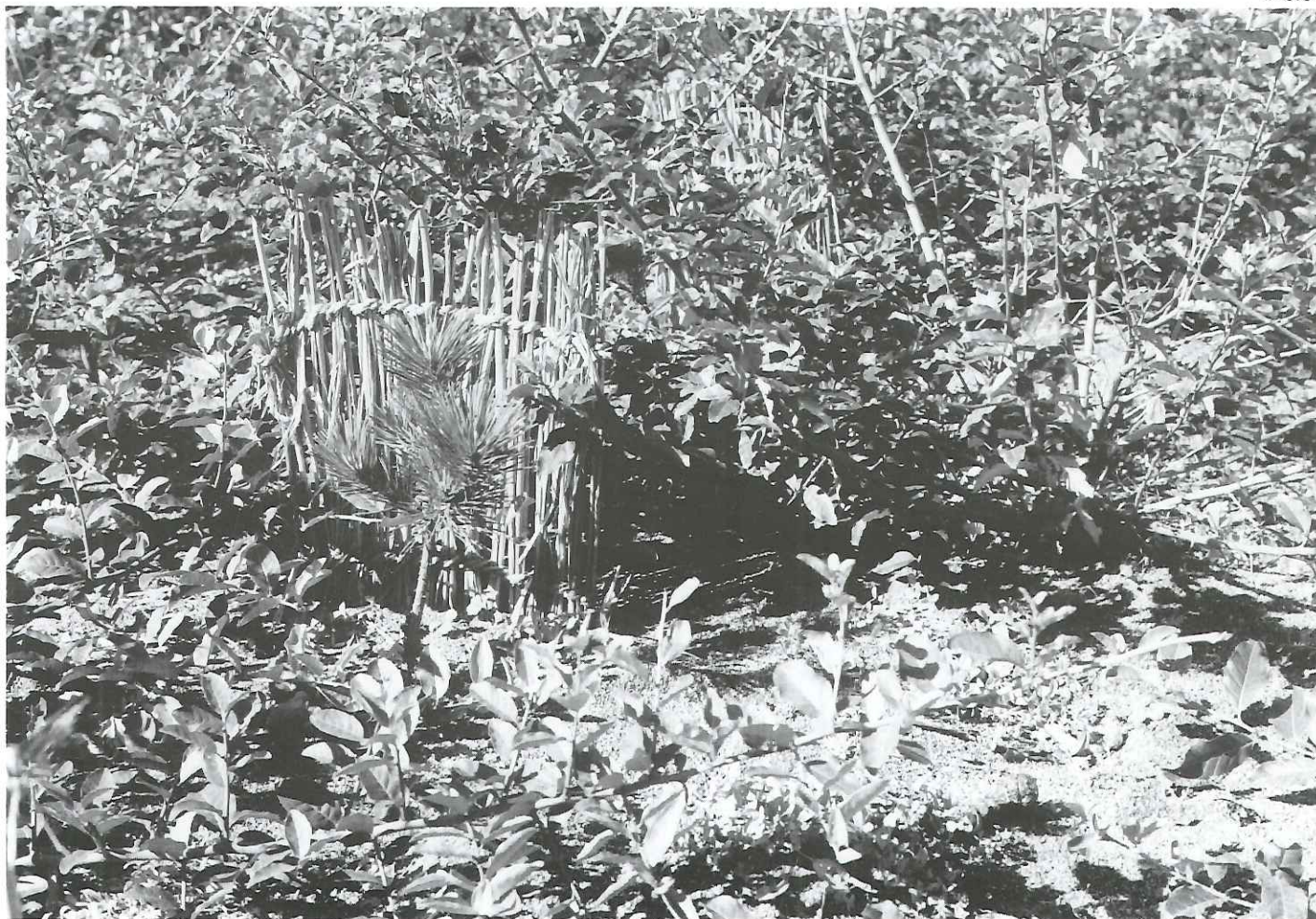


植栽木に風が当たらないよう、風上に衝立を設ける。(大開浜 S.37)

No.84



植栽木の風上に設けられた衝立。(S.38)



植栽木の風上に設けられた衝立。



植栽したクロマツの風上にヨシを編んだ衝立を立てる。(S.38)

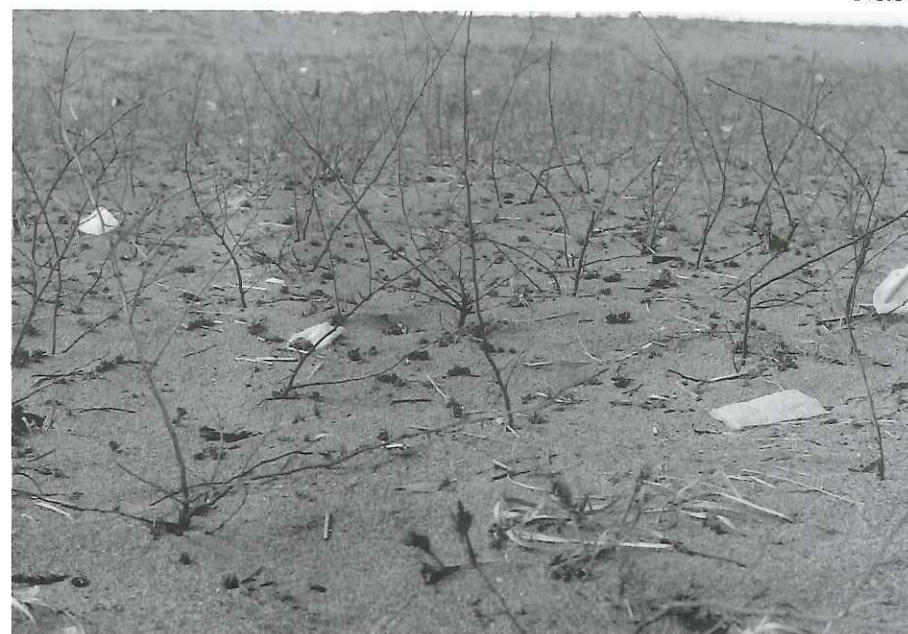
2-2-3 植栽工  
2-2-3-1 植 栽  
2-2-3-1-1 植 付

No.87



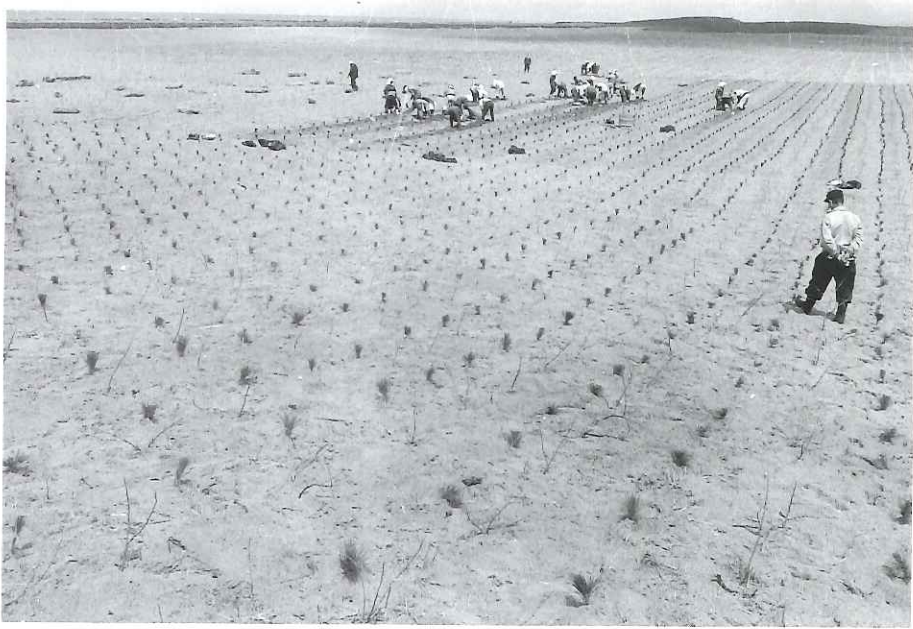
クロマツの植栽に先立って、肥料木としてアキグミを植える。(後谷地 S.39)

No.88



成長したアキグミ。芽吹く前の様子。(後谷地)

No.89



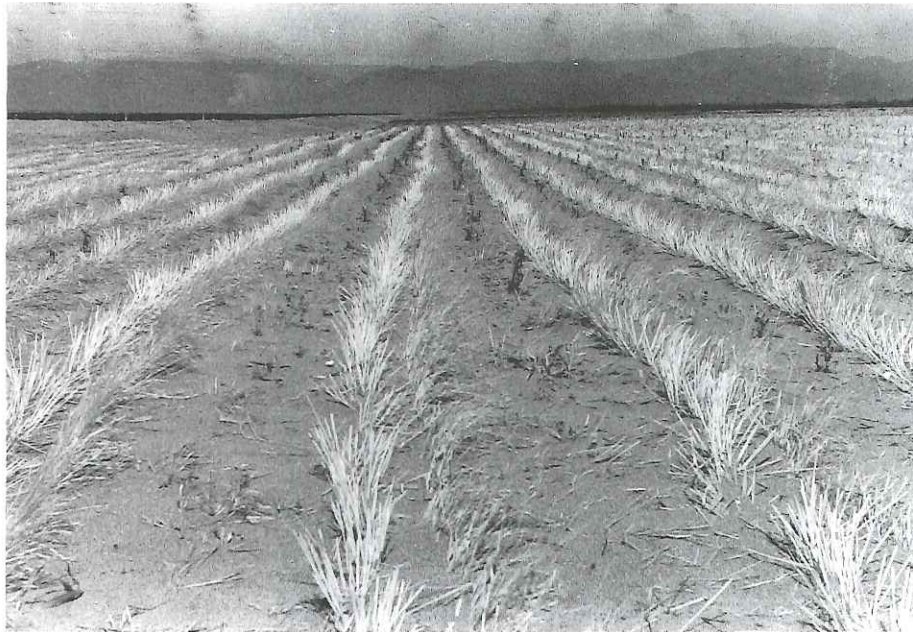
アキグミの間にクロマツを植栽する。(後谷地)

No.90



植栽後のアキグミとクロマツ。(大開浜)

No.91



フラ静砂立工の間に植栽されたクロマツ。(大開浜)

No.92



アキグミの植栽の際に、水分保持のため、植穴の中に埋ワラを行う。  
(大開浜 S.38)



植栽の際に消毒を行う。



植栽した後に苗木が枯れた場合には、その箇所再度苗木を植える（補植）。この写真ではアキグミを補植している。（大開浜 S.38）



No.95

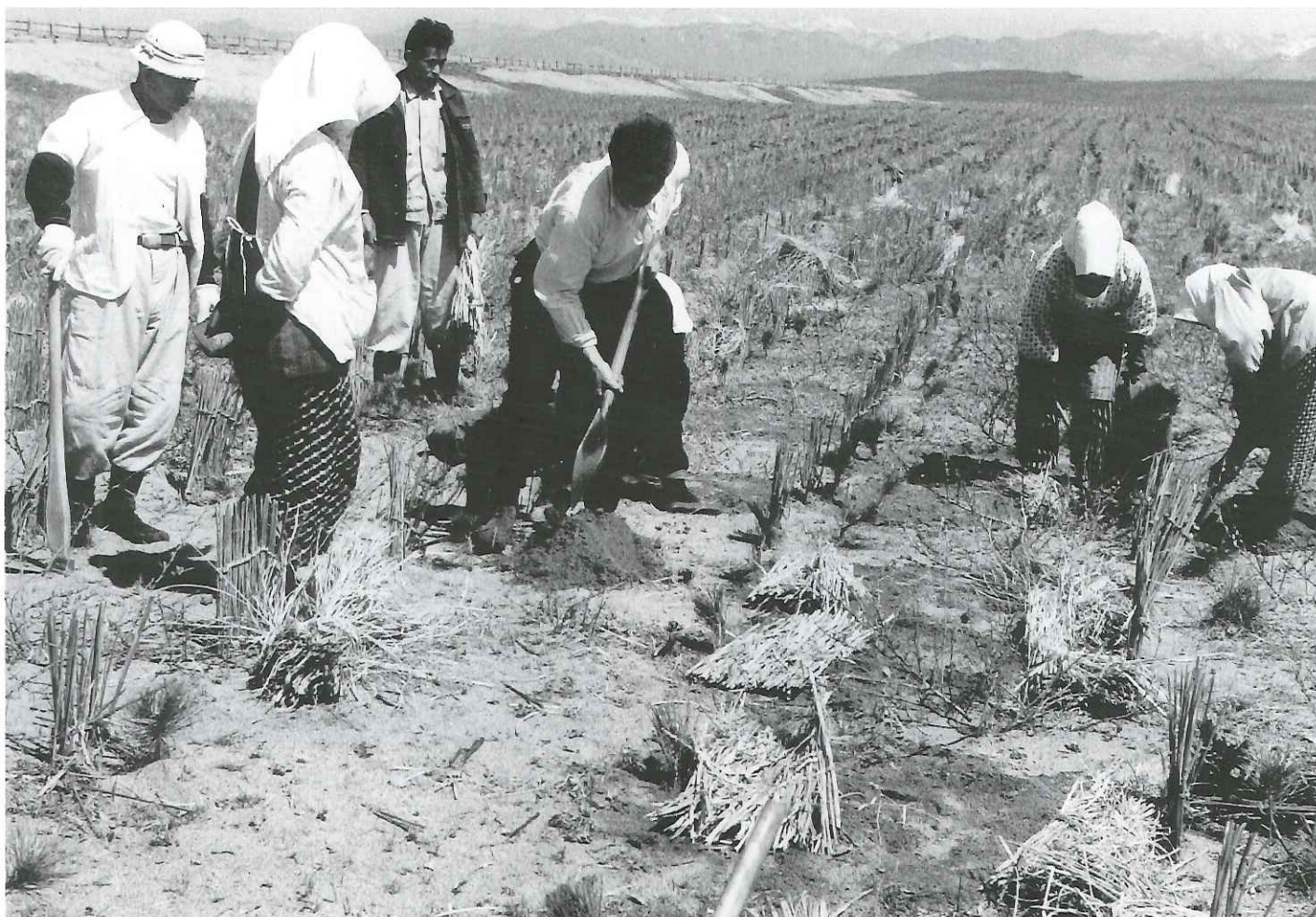


クロマツを補植。(大開浜 S.38)

No.96



クロマツを補植。(大開浜 S.38年)



クロマツを補植。(大開浜 S.38)

2-2-3-2 保 育  
2-2-3-2-1 下 刈

No.98



植栽木が成長するように、植栽木の周囲の草を刈り払う（下刈）。  
（後谷地）

No.99



下刈の作業。（後谷地 S.33）

No.100



成長を促すために肥料を施す。写真はハマニンニクに対する施肥。  
(後谷地 S.33)

No.101



アキグミに対する施肥。(後谷地 S.33)



クロマツに対する施肥。(後谷地 S.38)

No.103



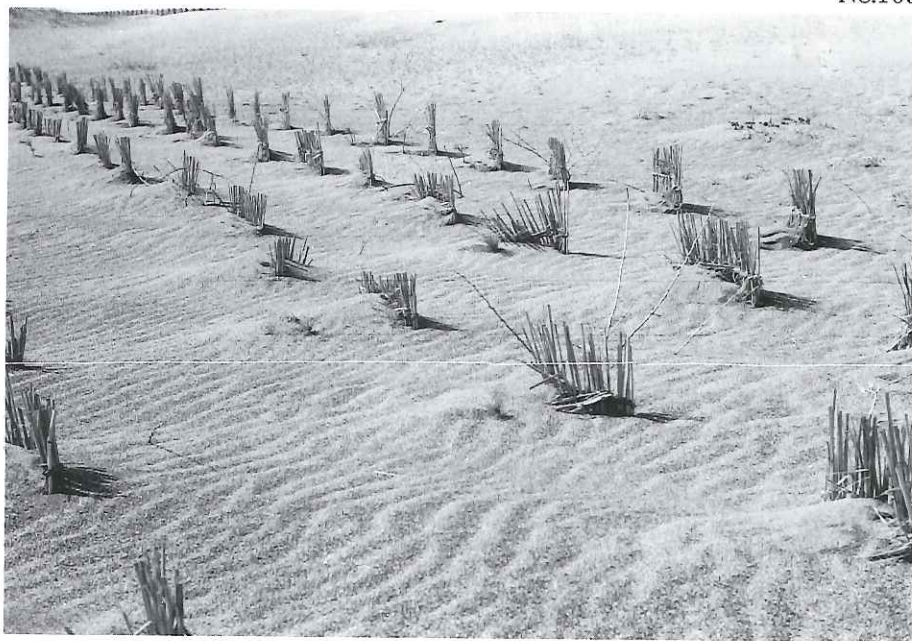
植栽木の成長にあわせて、更なる成長を促すため、本数を減らす（除伐）。  
（後谷地 S.34）

No.104



除伐木を搬出。（後谷地 S.34）

No.105



植栽したクロマツとアキグミが、風によって砂に埋まった様子。(後谷地)

No.106



砂に埋まったクロマツ。(後谷地 S.33)

No.107



強風によって倒れたクロマツの様子。(後谷地 S.32)

No.108



強風によって幹の中ほどで折れたクロマツ(写真中央)。  
(後谷地 S.32)

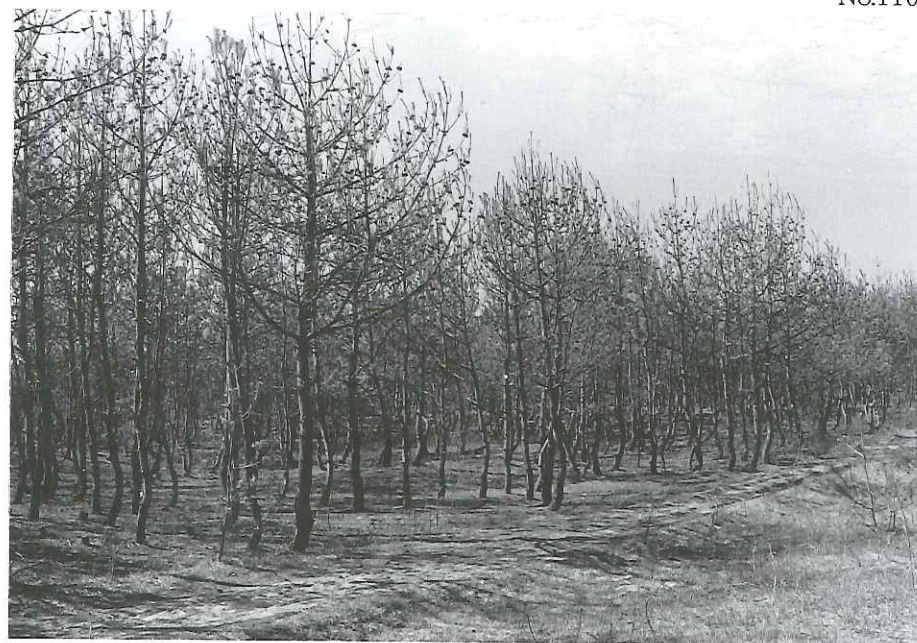


No.109



雪によって倒れたクロマツ。(後谷地 S.38)

No.110



ときには、松毛虫(マツカレハ)によってクロマツの葉が食害をうけることがある。(後谷地 S.34)

No.111



松毛虫の食害を受けたクロマツ。(後谷地 S.34)

No.112



松毛虫による被害を防除するために薬剤を散布。(後谷地 S.34)



松毛虫防除のための薬剤散布。(後谷地 S.34)